

思考力・判断力・表現力等を身に付け、福祉の見方・考え方を養成

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立日高高等学校 寺脇 琢真

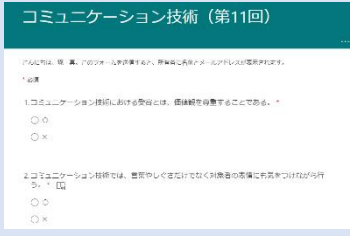
<b>本時の目標</b> ・様々な対象者に適するコミュニケーション方法について考え、適切な支援を提供することができるようになる。 ・班で協力し、課題解決能力を高める。	校種・学年	高等学校・3年
	教科・領域	福祉・コミュニケーション
	アプリ・ソフト	・Teams ・Forms
	備考	

○本時の展開

	<p><b>○学習活動（◆指導上の留意点）</b></p>
導入	<p>○前時の習得度を確認するために、小テストを実施する。                  ◆採点を自動で行い、一覧表で確認する。                  ◆正誤だけでなく、解説を記載しておくことで、間違いのポイントを理解させる。</p>
展開	<p>様々な対象者に適するコミュニケーション方法を考え、共有し話し合うことで学びを深める。</p> <p>○表示されている画像を見て、適切な支援方法を考え、Teams 上のファイルに書き込む。                  ○各自が書き込んだ内容を班で話し合う。                  ○発表後、班内で3人組となりロールプレイングを行い、適切なコミュニケーションを実践する。                  ◆書き込みファイルを事前に用意しておき、提出物として評価する。                  ◆班の意見を1つの意見にまとめさせる。                  ◆根拠や留意点を踏まえながら、説明を行う。</p>
まとめ	<p>○本時の振り返りを実施する。                  ◆振り返りから到達度を理解し、次時において補足説明や学びの状況に応じた説明をする。</p>

**育成できる情報活用能力**

◎Forms を活用し、基本操作方法を身に付ける。



コミュニケーション技術 (第11回)

この問題は、後、真、の2つの答えが正しいか、間違っているかを判断する必要があります。

問題

1. コミュニケーション技術における発言は、継続的で丁寧である。

○

×

2. コミュニケーション技術では、黙言や沈黙は、相手や状況に応じて適切な表現である。

○

×

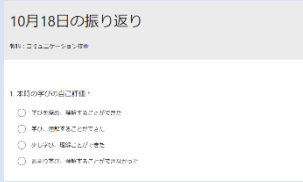
**育成できる情報活用能力**

◎資料を視覚的に理解することで、合理的配慮を必要とする生徒も理解しやすい。

◎ロールプレイングは、利用者・介護者・撮影者に役割分担し、実施後映像を見ることで客観的な振り返りができる。

**育成できる情報活用能力**

◎振り返りシートを書かせることで、学びを自己覚知することができる。



10月18日の振り返り

振り返りシート

1. 本日の学びの振り返り

○ 学びを、振り返ることができた

○ 学び、実践することができた

○ 少しづつ、振り返ることができた

○ 振り返りが、振り返ることができなかった

<p><b>生徒の感想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストでは、前回の授業で学んだことを確認することができる。</li> <li>・個人で考えた後、班で話し合うため色々な意見を知ることができる。</li> <li>・ロールプレイングでは、タブレット端末を使用することで、客観的に動きを確認できるため、改善しやすい。</li> </ul>
---

**<情報活用能力の育成とその効果>**

- ・小テストの作成・採点・集約が容易なため、毎時間実施できるので、予習を行う習慣が付き、基礎学力の定着に繋がっている。
- ・ロールプレイングの様子をクラウド上に残せ、自宅でも振り返ることができる。
- ・電子データを通して、福祉の見方・考え方を養成する。